

令和6年度第2回太子町子ども・子育て会議 会議録

1. 開催日時 令和6年10月3日(木) 14時00分～15時00分
2. 開催場所 太子町役場 議会棟 C101 会議室(全員協議会室)
3. 諮問事項 第3期太子町子ども・子育て支援事業計画について
4. 審議事項 第3期太子町子ども・子育て支援事業計画について
(骨子案及び事業量の見込みについて)
5. 出席委員 松浦委員 小谷委員 福井委員 川上委員 八木委員 井上委員
武田委員 植山委員 田中委員 難波委員
6. 欠席委員 栗田委員 柳生委員
7. 事務局 栄藤副町長
教育委員会 糸井教育長、福井教育次長
教育委員会こどもえがお課 肥塚課長 竹本副課長 佐々木係長
(株)ジャパンインターナショナル総合研究所 内藤 山森
8. 傍聴者 なし
9. 審議経過及び結果 以下のとおり

【審議経過】

1. 開会
2. 副町長あいさつ
3. 諮問
第3期太子町子ども・子育て支援事業計画について
4. 審議
第3期太子町子ども・子育て支援事業計画について(骨子案及び事業量の見込みについて)
(事務局説明)

武田会長 ありがとうございます。ただいまの説明に対してご質問等ございますでしょうか。

松浦委員 事業量の見込みの資料について、1号認定の幼稚園の利用者の部分でお聞きしたいのですが、認定こども園の1号認定はこちらに含まれているのでしょうか。

事務局 含まれています。

松浦委員 そうであれば、幼稚園と認定こども園の人数の大体の割合がわかれば教えていただきたいです。

事務局 1号認定の実績が約300人程度あると思いますが、認定こども園は利用定員数で言えば95人の枠がありますので、残りの約200人程度が幼稚園の利用者になります。

松浦委員 町内の認定こども園の1号認定の定員は充足しているということでしょうか。

事務局 認定こども園の1号は充足していると思います。幼稚園は3歳以上全員受け入れにしているので、お仕事されてない方や就労時間数がフルではない方で1号を希望され、認定子どもに行けなかった人などが、結果的に対象の幼稚園に入っているという状況です。

松浦委員 町外にも幼稚園等がありますが、町外に行っている1号認定の方もいるのでしょうか。

事務局 資料は町内の数字のみとなります。町外に1号で通われている方は、令和6年度で10人、令和5年度が14人、その以前の年度は、順に15、9、12となっております。ですので、例年10人ぐらいは町外に行かれています。

松浦委員 資料裏面の一時預かり事業について、新2号の就労されている方の預かりもあると思いますが、1号との割合はどれぐらいになっているのでしょうか。

事務局 今明確な数字がないため、後でお示しさせていただきます。

- 松浦委員 町内では比較的働く時間の短い新2号の保護者の方が多いと思うので、大まかな今後の推移が分かったと園としても運営しやすいと思いますのでよろしくお願いいたします。
- 武田会長 第1期から会長をさせていただいていますが、諮問の付帯事項として、人材確保の部分を毎回出しています。前回より一層人材確保が厳しい中で、対応策がなければ同じような諮問になってしまうと思いますが、事務局の方で見通しなどあれば何かご意見お願いいたします。
- 事務局 保育所もそうですが、学童でも人材不足が課題となっています。特に、学童の場合は勤務が昼すぎから夜までなので、現役世代では働きづらい時間帯となっており、働いてもらってる方も高齢化している状況です。このような中で、現在は民間活力の活用ということで委託なども検討しております。また、今年度より、保育補助員という形で、保育士の仕事を軽減するために補助の人を雇った際に町から施設に補助金を出すという制度を設けたりもしております。
- 難波委員 骨子案11ページの児童の状況の表について、説明では公立幼稚園が3か所ありますという文言になっていますが、表では4か所あるので一致していません。龍田幼稚園の休園によるものだと思いますが、説明を入れないとわからないと思います。
- 事務局 この部分の記載については検討させていただきます。条例上は廃止しておらず、現状は休園なので文末に休園という文言入れるなどの対応をさせていただきます。方向性が決まりましたら今年度末までに変更したいと思います。
- 福井委員 学童について、19から20ページのアンケートを比較すると、利用希望率と実際の利用率の間で20パーセントぐらい乖離があります。実績を基に推計値を出されていると思いますが、もしこの20パーセントが本来は利用を希望していたのに利用に至らなかった割合だと見込んだ場合は、もう少し多く推計しておいた方がよいのではないかと思います。
- 事務局 ありがとうございます。例えば、令和11年度には児童数に対して49%の見込みを挙げさせていただいていますが、今年度の場合、石海小学校では約80人の新生児に対して学童は約50人の応募がありました。つまり、60%を超える場合もあるので、この辺りは検討して、改めて推計値を出させていただきたいと思います。

武田会長 80人中50人が希望しており、全員ではないが受け入れたということでしたが、学童のスタッフが確保できなかった場合には、そこからさらに数を絞らざるを得ない状況が出てくるのでしょうか。

事務局 最初は新たなスタッフが確実に確保できるまで、1、2ヶ月程度は入園待機してもらうことも検討しました。しかしながら、当町は待機児童ゼロという方針掲げておりますので、他の学区の学童からスタッフを集めたり、保育室も大急ぎで整備したりするなどして、年度当初から全員を受け入れた次第です。

武田会長 以上で本日の議題は終了しました。たくさんのご意見、ありがとうございました。有意義な会になったかと思います。それでは、これ以降の進行については事務局にお任せします。

5. その他

(事務連絡)

6. 閉会

この議事録が真正であることをここに署名する。

令和6年11月6日

署名委員 植山 佐智子

署名委員 井上 香余